



北陸大学
国際コミュニケーション学部
心理社会学科 教授
河野俊寛先生

河野俊寛

URAWSS II

講習

公認心理師、臨床心理士、言語聴覚士、スクールカウンセラー、特別支援士、
その他特別支援教育に携わる皆様

読み書き困難の発生率は8%ほどとされていますが、学校での配慮はまだ行き渡ってはいません。しかしながら近年、読み書き困難への理解は急速に高まってきました。またGIGAスクール構想（PC1人1台化）の普及より、配慮への心理的なハードルも大きく下がってきています。そうした状況を受け、読み書き検査へのニーズは急速な高まりを見せ始めています。読み書き困難の子供たちを救うためにあなたも検査法を習得しませんか。

読み書き困難のメカニズムと検査法、アセスメントバッテリーの提案、アセスメント結果の判定練習、検査所見作成練習など即戦力を養成します。

読み書き検査を
学んでLDを
可視化する

大人気の理由がわかる白熱講座をぜひご体験ください！

■「盛りだくさんすぎましたかね」という先生のご発言がありましたが、「学んだ！」という充足感を味わえ、このスピード感がとてもとても良かったと思います。URAWSSについて、基本理念や実際的な実習も学べて本当に良かったです。司会の方の臨機応変な対応がとても素晴らしく、ご息のことについて語られたときも聞き入るものがありました。今後もし対面形式に戻ることがあってもできればハイブリッドで今回の形式も残してほしいです。遠隔地でなかなか東京まで行くことができません。

■今回、河野先生の豊富な実践的研究に基づく講義を拝聴する機会が得られて、たいへん勉強になりました。特に、子どもの負担をできるだけ少なくして、読み書き困難を可視化する手立てを学べたことは大きな収穫でした。今回の学びを今後の臨床に活かしていきたいと思っています。

■講義は深く、練習もさせていただき、添削までしてくださり、具体的なアドバイスが多く、大変ためになりました。現場で生かしたいです。すべての先生方に聞いていただきたいです。こどもへの思いが温かく、知識以上のものを、わけていただけました。

■とってとてもよかったです。学校で、ずっと居残りさせられて宿題をさせられている子どもたちを見て、担任の先生方に話したり、管理職の先生方に話しては、心折れる日々でした。今後の臨床に生かしていきたいと思っています。特に、環境を整えた上に子どもたちの頑張り乗る、といったお話は、早速いろんな先生にお伝えしては、頷きをいただいています。また先生の研修を心待ちにしています。

■内容も充実していて具体的でわかりやすく、所見作成もみなさんの表現も非常に勉強になり、自分の取り組みの硬さにも気づきがあり、学びの多い研修でした。先生ならびに事務局の方の対応も至れり尽くせりで素晴らしい一言です。

■とても密度の濃い研修でした。実施方法から所見の書き方まで網羅していただき、とても助かりました。Q&Aで、知りたい部分に手が届き、とても満足しています。

お申し込み受付中

・ 2024年11月9日(土)～10日(日)



<https://peatix.com/event/3932657>

一般社団法人 読み書き配慮
〒169-0072 東京都新宿区大久保3丁目1-4-4
毎日新聞社早稲田別館 5階
TEL:03-5937-3870
MAIL:support@yomikaki.or.jp
ホームページ:<https://yomikaki.or.jp/>